

1 総括についての評価

・学校は概ね適切に自己評価を行っている。
 ・教員が熱心に学習指導に取り組んでいる点と、生徒の道徳心・社会性育成や健康・体力の保持増進のために、協働して取り組んでいる点は大変評価できる。

2 年度目標ごとの評価

年度目標:【学力の向上】

- ①平成26年度の全国学力・学習状況調査における「普通の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っているといますか。」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を37%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- ②平成25年度中には、3教科で校区小学校と連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。(マネジメント改革関連)
- ③テスト前学習に参加する生徒の数を前年度より2%あげる(カリキュラム改革関連)

・目標は概ね達成されている。
 ・教員はICT機器の有効な活用を検討したり、教材・教具を工夫したりすることを通して、言語力育成や学力向上のための取り組みを行い、一定の成果をあげている点は評価できる。また、小中連携を行ったり、補充学習を充実させたりしている点も評価できる。引き続き、これらの取り組みを行っていくことが求められる。
 ・今後も、生徒の活発な意見をもとにした内実のある授業を行っていくことを望む。また、生徒が教科の学習内容に興味や関心をより一層持つことができる取り組みを行うことを期待する。

年度目標:【道徳心・社会性の育成】

- ①平成25年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。(カリキュラム改革関連)
- ②平成26年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいといますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を92%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- ③平成26年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を32%以上にする。(ガバナンス改革関連)

・目標は概ね達成されている。
 ・教員が地域住民と協働して、生徒の道徳心・社会性の育成を行っている点は評価できる。
 ・今後は教員の取り組みが成果をあげられるように、教員が今年度の省察を踏まえて、次年度に臨むことを期待する。特に課題を共有し、一丸となってチームとして取り組んでいくことが、一層重要であると思われる。また、元気アップ事業などをより積極的に活用し、生徒の道徳心・社会性の育成を行うことを望む。

年度目標:【健康・体力の保持増進】

- ①平成25年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える生徒の割合を82%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- ②平成25年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができている」の項目について、「よくあてはまる(ややあてはまる)」と答える生徒の割合を75%以上にする。(カリキュラム改革関連)
- ③検診で分かった症状の治癒率80%をめざす。(カリキュラム改革関連)

・目標は概ね達成されている。
 ・生徒が健康的な生活習慣を身につけるための継続的な取り組みを行っている点や、限りある学校設備のなかで生徒の体力・運動能力向上のための取り組みをしっかりと行っている点は評価できる。
 ・今後も生徒の美化・健康増進意識向上を目指して、次年度の計画を立てることを期待する。

3 今後の学校運営についての意見

・今年度と同様に、教育方法の工夫を行い、よりよい授業実践を行うこと、地域と連携して生徒の道徳心・社会性育成を行うこと、生徒の健康・体力の保持増進のための取り組みを積極的に行うことが求められる。
 ・生徒の学力や学校評価などに関わる調査結果を、今後の学校運営に反映させることができるように、調査方法、調査結果の表記方法や活用方法について再検討することを期待する。
 ・情報公開に関わって、市民が見てわかりやすいかたちで結果を公表することを期待する。